

国の交付金等を活用した事業について

基本目標4 「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる

② 尾州テキスタイル産業のブランド化

「尾州テキスタイル産業のブランド化～人材発掘と育成・ものづくり・プロモーションのパッケージ化によるワンストップ支援事業～」

地方創生加速化交付金関係（国10/10）

事業		内容
人材発掘・育成	① 地方創生発信型人材育成事業	人材育成に関するコンシェルジュを新たに設置し、関連する各種支援制度のパッケージ化や情報発信を行い、連携する渋谷区の文化服装学院や在京の杉野服飾大学等へ呼び掛け、ファッションを学ぶ学生を尾州地域の企業における研修等へ受け入れる。
	② 学生視察研修事業	市内高校のファッション創造科で学ぶ学生を対象に、東京展の見学や渋谷区の文化服装学院の学生との交流等を通じ、ファッション業界の最先端の動向や見識を深めさせ、次代を担う人材の意識醸成と育成を図る。
	③ 翔工房	ファッション系の専門学校・大学生を対象に、学生が自らのアイデア（洋服のデザイン）を具現化するため、長年繊維業界で活躍してきたテキスタイル製造工程の民間技術者とコラボレーションし、斬新なアイデアを基に、生地づくりから製作に関わり、唯一無二の生地を生み出す企画力を培い、ファッション産業の次代を担う人材を育成する。
	④ 尾州の匠ものづくりリレー事業	ファッション系の専門学校・大学でファッションを学び、尾州で繊維産業への就業を目指す文化服装学院等の卒業生に対して織布工場を借り上げて、長年繊維業界で活躍してきたテキスタイル製造工程の民間技術者との生地づくりの実践指導を通じ、後継人材の育成と定着を図る。
	⑤ 尾州インパナ塾	尾州産地の繊維関連企業の若手従事者で、今後繊維産業の中核を担う人材を対象に、高度な製造技術やトータルなモノづくりについて学ぶ場を提供し、差別化・高付加価値商品の企画・製造を行うことができ、アパレルや小売等の川下企業へ提案できるようスキルアップを図る。
プロモーション	⑥ モノづくりプロジェクト事業費	各企業が独自の発想や強みを活かした生地づくりを支援し、テキスタイルメーカーの新商品開発や販路開拓を推し進める。
	⑦ 尾州産地ブランド発信事業	三越伊勢丹での販売を視野に入れ、リバープロジェクトとの新たなブランド・新商品開発と発信を推し進める。
	⑧ 総合展及びヤーン展（商談会）開催事業費	尾州産地のものづくりや魅力を発信・商談する総合展や、アパレルや小売店へ提案できる差別化・高付加価値商品のための素材づくりを支援するため、糸を扱う企業の展示商談会も開催し、テキスタイルメーカーの新商品開発や販路開拓を推し進める。

事業		内容
プロノモづくりシリヨン	⑨ 東京展（商談会）開催事業費	ファッションとビジネスの中心である東京都港区のTEPIAにおいて、商談会として尾州テキスタイルの情報発信と販路拡大を推進するとともに、渋谷ヒカリエを中心に開催されるメルセデスベンツ・ファッション・ウィーク・東京との連携を目指す。
	⑩ 尾州生地と有名アパレルブランドとのマッチング	海外アパレルブランドとの信頼関係構築のため、欧州キャラバン（個別訪問）による商談を行い、継続的な取引へと繋げ、尾州生地の販路拡大・ブランドカアップを図る。
	⑪ 産業観光プロモーション調査研究事業	市内に多数残る『のこぎり屋根』の工場群や繊維にまつわる神社や建物等、地域・産業・建築上の重要な『産業遺産』として、或いは繊維産業により築かれてきた喫茶店のモーニング文化等を『文化遺産』と捉え、観光資源として活用する方策を調査・研究する。

重要業績評価指標（KPI）の実績値等

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	事業効果
① 有名アパレルブランドと市内企業の契約件数	1件			6件	
② テキスタイル産業における人材育成事業受講者数	506人			3,000人	

地方創生推進交付金関係（国1/2）

事業	内容
地方創生発信型人材育成事業	（学）文化学園の学生が総合展「THE尾州」の場においてファッションショーを実施することで、意識の醸成及び産地のPRに繋げる。また、発信力のある著名人やメディアと連携し、ファッションショーの様子を発信することにより、幅広い地域への産地のPRに繋げる。

重要業績評価指標（KPI）の実績値等

指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業効果
① 有名アパレルブランドと市内企業の契約件数	1件				8件	
② テキスタイル産業における人材育成事業受講者数（平成28年度からの延べ人数）	506人				4,200人	